

大学等名 富山大学

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制（委員会・組織等）

富山大学教育・学生支援機構データサイエンス推進センター会議

（責任者名）唐渡 広志

（役職名）データサイエンス推進センター長

② 自己点検・評価体制における意見等

| （責任者名）                       | 自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等                                                                                                                                                                        |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学内からの視点                      |                                                                                                                                                                                                     |
| プログラムの履修・修得状況                | プログラム科目の担当教員は、LMSに記録された各受講者の履修状況を確認することができる。<br>また、データサイエンス推進センター会議においてプログラム科目の履修状況、プログラム修了学生数、修了可能な学生数の分析を行っている。                                                                                   |
| 学修成果                         | データサイエンス推進センター会議において、プログラム構成科目の成績および授業アンケートを分析し、授業内容の学生の理解度を把握し、プログラム科目の評価・改善に活用している。                                                                                                               |
| 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度        | プログラム構成科目の受講者に対して実施している授業アンケートにおいて、各教育項目の理解度を確認している。その結果をデータサイエンス推進センター会議にて検討し、教育プログラムの改善につなげる。                                                                                                     |
| 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度     | プログラム構成科目の受講者に対する授業アンケートやプログラム修了者に対するアンケートによって、他の学生への推奨度とその理由を確認している。その結果をデータサイエンス推進センター会議にて検討し、教育プログラムの改善につなげる。                                                                                    |
| 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況 | R6年度に改組した経済学部経済経営学科において提供される1年次生向けに新設した必修科目の一つである「経済データサイエンス入門」は、本プログラムにおいて必修科目の一つであり、R6年度は97%の受講者が単位修得をした。単位修得できなかった学生は引き続きR7年度に再履修している。今後、その他の必修科目・選択科目について1年次生向けの科目であるスタートアップゼミや初年次ゼミにおいて周知をはかる。 |

| （責任者名）                                                                                                                   |                               | 自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学外からの視点                                                                                                                  |                               |                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                                                                                                          | 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価     | 卒業生に対して経済学部における教育に関するアンケート調査を実施している。今後、本プログラムの修了者が卒業する時点においてプログラム内容に関する質問項目を設定し、進路調査データをマージした上で卒業生の活躍状況や企業からの評価が把握できる仕組みを整えていく。                                                                                                   |
|                                                                                                                          | 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見 | 選択科目である「データサイエンス特殊演習 データサイエンス実践演習I」「データサイエンス特殊演習 データサイエンス実践演習II」は、企業から寄せられた課題をデータサイエンスに基づいて解決することを目的としており、R3年度から開始して4年間の実績がある。R6年度は6企業1団体から課題提供を受けており、各企業・団体からも担当者が参加する。本プログラムの開始にあわせて、演習の内容、大学と企業や地域との関わり方などについて評価してもらえる仕組みを整える。 |
| 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること                                                                                  |                               | 経済学部必修科目である「経済データサイエンス入門」（本プログラムの必修科目）において、プログラムの中核であるDS基礎、DE基礎、およびAI基礎に関わる内容を経済や社会における問題と絡めながら網羅的に講義し、さらに深く学ぶための選択科目があることについても示す。特に、経済学や経営学等の社会科学系のその他の科目との親和性について説明し、データサイエンスを学ぶ意義と必要性を伝える。                                     |
| 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること<br><br>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載 |                               | 授業アンケートにより、学生の満足度や理解度を調査し授業内容の改善につなげる。プログラム構成科目において生成AIの活用例を適宜示し、自ら効果的なプロンプトを発見したり、回答内容を吟味していくことの重要性を伝える。                                                                                                                         |